

1. 項目は、項目番号に、○印をつけたものを適用する。
2. 欄目は、○印をつけたものを適用する。
3. その他特記事項は、() 内に記載する。

適用範囲	本特記仕様書は、各共通仕様書及び補定事項に記載な事項を特記するものであり、各工事において、他の工事との関連ある事項は、各々該当の記載事項を参照する。																																																																	
2 疑義	設計図書に記載なくとも、外観上、構造上、設備上当然必要と認められるものは、係員の指示に従うものとする。																																																																	
3 優先順位	本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。 1. 現場説明事項（質疑応答を含む） 2. 特記仕様書 3. 各設計図 4. 共通仕様書（建設大工部官庁書庫部監修）																																																																	
4 材料試験	本工事に使用する材料のうち、係員により指示のあるものに關してはその成績書を出し、又は係員の認める試験所で試験を行い、確認を受けなければならない。なお試験に要する諸費等は、すべて請負業者の負担とする。																																																																	
5 提出図書	本工事の施工に伴う、提出図書は、下記に定める他、必要に応じて、係員と協議の上、作成するものとする。																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>提出書類</th><th>期限</th><th>部数</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>工事請負契約書</td><td>契約後すみやかに</td><td>1</td><td></td></tr> <tr> <td>2</td><td>工事工程書</td><td>契約後すみやかに</td><td>2</td><td>ネットワーク工程表</td></tr> <tr> <td>3</td><td>現場代理人等選定届書</td><td>契約後すみやかに</td><td>2</td><td>別紙経理書を添付</td></tr> <tr> <td>4</td><td>資材計画書</td><td>契約後すみやかに</td><td>1</td><td></td></tr> <tr> <td>5</td><td>施工図、製作図</td><td>その都度</td><td>1</td><td>各工事毎</td></tr> <tr> <td>6</td><td>工事月報</td><td>一ヶ月ごと</td><td>1</td><td>工事進捗表、写真、日報等</td></tr> <tr> <td>7</td><td>打合議事録</td><td>その都度</td><td>1</td><td></td></tr> <tr> <td>8</td><td>材料試験成績報告書</td><td>試験後</td><td>2</td><td></td></tr> <tr> <td>9</td><td>資材出庫管理簿</td><td>その都度</td><td>1</td><td></td></tr> <tr> <td>10</td><td>完成図</td><td>工事完了時</td><td>1</td><td></td></tr> <tr> <td>11</td><td>工事竣工引渡書類</td><td>竣工時</td><td>1</td><td></td></tr> <tr> <td>12</td><td>その他係員の指示による</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		提出書類	期限	部数	備考	1	工事請負契約書	契約後すみやかに	1		2	工事工程書	契約後すみやかに	2	ネットワーク工程表	3	現場代理人等選定届書	契約後すみやかに	2	別紙経理書を添付	4	資材計画書	契約後すみやかに	1		5	施工図、製作図	その都度	1	各工事毎	6	工事月報	一ヶ月ごと	1	工事進捗表、写真、日報等	7	打合議事録	その都度	1		8	材料試験成績報告書	試験後	2		9	資材出庫管理簿	その都度	1		10	完成図	工事完了時	1		11	工事竣工引渡書類	竣工時	1		12	その他係員の指示による			
	提出書類	期限	部数	備考																																																														
1	工事請負契約書	契約後すみやかに	1																																																															
2	工事工程書	契約後すみやかに	2	ネットワーク工程表																																																														
3	現場代理人等選定届書	契約後すみやかに	2	別紙経理書を添付																																																														
4	資材計画書	契約後すみやかに	1																																																															
5	施工図、製作図	その都度	1	各工事毎																																																														
6	工事月報	一ヶ月ごと	1	工事進捗表、写真、日報等																																																														
7	打合議事録	その都度	1																																																															
8	材料試験成績報告書	試験後	2																																																															
9	資材出庫管理簿	その都度	1																																																															
10	完成図	工事完了時	1																																																															
11	工事竣工引渡書類	竣工時	1																																																															
12	その他係員の指示による																																																																	
	<p>① 工事竣工図は、黒炭紙金文字入製本とし、二部提出する。（A2版縦向き） （細則は東野市役所の指示に依る。）</p> <p>② 竣工写真は、黒炭紙金文字入製本、建築写真家によるものとし、 アルバム貼付にて提出する。またカット数は別添提出する。</p> <p>（撮影：カラー・モノクロ、全部撮影）</p> <p>③ 工事の円滑な進行を計るため、係員の指示により、工事期間中定期的に各工事責任者を招集し、打合せを行うものとする。</p> <p>④ 請負者は、定例打合会議議事録をとり、その都度係員の承認を得るものとする。</p>																																																																	
7 既設部分との取合	既設建物と今回工事の取合部分、その他で納まりおよび工事の都合などにより破壊、損傷させられた箇所は、今回工事仕上げ及び、旧工事、仕上同材にて完全に補修しなければならない。																																																																	
8 別途工事	別途工事について施工工程ならに、納まり等に関して、別途工事業者と密接に連絡し、調整に当らなければならない。																																																																	
9 工事保証 その他	<p>① 建物竣工引渡し後 2 年以内において工事不良のため、生じたと認められる事項は、請負者の負担にて、速速工事へ復旧する。</p> <p>② 本工事竣工に際しては、本工事場所が、工事による損害、振動などについて地域規制をいかなるかを確め、規制を受けよう場合は、規制に従い、施工計画を立てて、関係官庁の指導を受ける。</p>																																																																	
10 室内環境	<p>① 室内の空気汚染対策 室内仕上げ材・建具類の芯材に用いる合板類、収納器具及び複合フローリング等はホルムアルデヒドの放散量日本建築規格（JAS）、日本工業規格（JIS）で定めるF☆☆☆☆（旧F☆☆☆☆）等級のものとする。下地も同様とする。</p> <p>② 塗料等の施工に使用する塗料はホルムアルデヒドを不放出のものとする。</p> <p>③ 床暖房エコロギング、巾着等の施工時に使用する接着剤は毒性系（エポキシ系）とし、ホルゲン・キシレンなどの有機化合物の含有率の少ないものとする。</p> <p>④ 塗料、本工用接着剤等に含まれる可塑剤は、難燃発火性のものとする。</p> <p>⑤ 工事完了後、引渡しの際に室内空気中の化学物質について測定し報告する。</p> <p>⑥ 測定化学物質については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンとし、本工事に於いては、3箇所を測定を行うものとする。なお、測定結果が厚生労働省の指針値以下であることを確認した上で引渡しを受けるものとし、指針値を超えた場合は、換気の措置を講じた後、再度測定を行うこととする。</p> <p>⑦ 測定方法については、測定バッチF（ホルムアルデヒド用）測定バッチV（揮発性有機化合物用）両方を同一のものとする。</p>																																																																	

・ 仮囲い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造： ・ 鋼板製 ・ 木製 ・ その他（ ・ 高さ： ・ 1.5 M ・ 1.8 M ・ 3 M以上 ・ その他（ ・ 仕上： ・ 仕上なし ・ ペイント仕上 ・ その他（ ・ 範囲： ・ 道路面、および安全上必要と思われる範囲とする。 ・ 意匠：
② 係員詰所	<ul style="list-style-type: none"> ② 構造： ・ プレハブ造 ・ 木造 ・ その他（ ② 規模： ・ 10㎡内外 ・ 20㎡内外 ・ 35㎡内外 ・ その他（ ② 備品： ② 机、椅子 温度計、テストハンマー、ノギス、安全帽、 来客用安全帽、長靴、水平垂直器、ロッカー、 ② その他（ 係員の指示のあるもの ② 設備： ・ 電灯 ・ 給排水、給送設備 ・ 電話 ・ 冷蔵庫 ・ 消火器 ・ クーラー ・ その他（ ・ 係員詰所は工事打合せに便利のように請負事務所と隣接して建てる。 詰所に係る経費は、一切請負者の負担とする。
③ 看板	<ul style="list-style-type: none"> ② 本工事現場に提示する看板は、大きさ、書体、仕上り、取付位置などあらかじめ係員と協議する。
4 工事用水電力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償 ） ・ 利用できない
⑤ 障害物の処理	<ul style="list-style-type: none"> ② 工地上撤去、移動を要する軽微なものは、本工事の範囲とする。
⑥ 設計 G、L	<ul style="list-style-type: none"> ② 標準 G、L の決定及び、B、M の設置は、係員の立会いのもとに行う。
⑦ 保護設備	<ul style="list-style-type: none"> ② 本工事の施工に当たり、付近住民、隣接建物、工作物、通行人に対して損害を与えないように、必要な保護設備を計画し、係員及び各関係の承認を得て実施する。万一損害を与えた時は、速やかに応急手当、復旧工事をし、これに要した費用は、請負者の負担とする。 ・ 工事完了後、建物引渡し前に全体の掃除を行い、工事にによる公道の損傷部は完全に復旧する。
03 土工事	
① 掘切り	<ul style="list-style-type: none"> ② 工事着手前に掘切方法、山留工法、排水方法、使用機器等を記した、施工設計書を提出し、係員の承認を得るものとする。 ② 掘切完了後、深さ、大きさ、床さらいの状態について、係員の承認を得るものとする。 ・ 特殊工法
② 敷地整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹木： ・ 移植 ・ 伐切 ・ その他（
③ 埋戻し、盛土	<ul style="list-style-type: none"> ② 埋戻し： ・ 掘切土使用 ・ その他（ ・ 盛土： ・ 無し ・ 有
④ 残土処分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場外搬出（自由処分） ・ 場内堆積（ ・ 場内取扱い ・ その他（
04 地業工事	
① 地耐力試験	<ul style="list-style-type: none"> ② 不要 ・ 必要 1 ヶ所 載荷試験 ② 長期支持力 $F = 4.5 \text{ KN/m}^2$
2 既設杭地業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 杭の種類： ・ RC 杭 ・ PC 杭 ・ その他 ・ 長さ等： 詳細については構造設計図特記による。 ・ 試験杭： 詳細については構造設計図特記による。 ・ プレボーリング杭大掘工法： 詳細については構造設計図特記による。
3 場所打コンクリート地業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 杭の種類： ・ アースドрил杭 ・ ベノト杭 ・ 深礎工法 ・ その他（ ・ 長さ等： 詳細については構造設計図特記による。 ・ 使用材料： 詳細については構造設計図特記による。 ・ コンクリート： 詳細については構造設計図特記による。 ・ 杭荷試験： ・ 不要 ・ 必要 ヶ所

	砂利地業	その他
	・ 厚さ: <input type="radio"/> 150mm <input checked="" type="radio"/> 100mm	
5 ラップコンクリート地業	・ コンクリートの割合: セメント1・砂3・砂利6 (容積比) ・ コンクリートと玉石の比率: ・ 1:1 ・ その他 (
6 均しコンクリート地業	・ 厚さ: <input checked="" type="radio"/> 50mm <input type="radio"/> 30mm ・ 割合: セメント1・砂3・砂利6 (容積比)	
7 ポリエチレンフィルム敷き	・ 不要 <input checked="" type="radio"/> 必要 厚0.15mm	
8 特殊工法		

<p>鉄筋 コンクリート</p>	<p>コンクリートの種類: ○ 普通コンクリート ○ 早強コンクリート ○ その他 (</p> <p>・ 設計基準強度: ○ 18 N/mm² ○ 21 N/mm² ○ 24 N/mm² ○ その他 (</p> <p>・ 混和剤等: ○ 減水剤 ○ 防縮剤 ○ その他 (A E減水剤</p> <p>○ 粗骨材: ○ 川砂利 ○ 砕石 ○ その他 (</p> <p>○ 細骨材: ○ 川砂 ○ 山砂 ○ その他 (</p> <p>・ コンクリートの供与: ○ レディミックスコンクリート ○ 現場コンクリート ○ その他 (</p> <p>・ 水セメント比: ○ 60° / w t 以下 ○ 70° / w t ○ その他 (</p> <p>・ 塩化物制限: ○ 0.3 kg / コンクリート以下 ○ 0.3 kg / m³ ~ 0.6 kg / m³</p>
<p>2 軽量 コンクリート (構造用)</p>	<p>・ 粗骨材: ○ 人工軽量骨材 ○ その他 (</p> <p>・ 細骨材: ○ 人工軽量骨材 ○ その他 (</p> <p>・ 設計基準強度: ○ 18 N/mm² ○ 21 N/mm² ○ 24 N/mm² ○ その他 (</p> <p>・ 気乾比重: ○ 1.8 以下 ○ その他 (</p>
<p>3 寒中 コンクリート</p>	<p>・ 適用範囲: 年 月 日 ~ 年 月 日</p>
<p>4 無筋 コンクリート</p>	<p>・ 土間コンクリート: F_o = 21 N/mm² スランプ 15 cm 以下とする。</p> <p>・ 防水床床さ上げコンクリート: F_o = 13.5 N/mm²</p>
<p>5 軽量 コンクリート (非構造用)</p>	<p>・ 基準強度: ○ 9 N/mm² ○ 13.5 N/mm² ○ その他 (</p> <p>・ 気乾比重: ○ 1.8 ○ 1.2 ○ 1.1 ○ その他 (</p> <p>・ 粗骨材: ○ 火山砂利又は石灰質ガラ ○ 人工軽量骨材 ○ その他 (</p> <p>・ 細骨材: ○ 川砂 ○ 山砂 ○ 海砂 ○ その他 (</p>
<p>6 型枠</p>	<p>・ 材料: ○ 複合合板 (厚 12 mm) ○ 鉄甲板 (厚 mm)</p> <p>・ 工法: ○ ボルト式 ○ 番線式 ○ その他 (</p> <p>・ 制震剤: ○ 使用不可 ○ 使用可 (</p> <p>・ 貯留期間: 建設者各指示 110 号による。</p> <p>・ 打放しコンクリート仕上り上のふり厚増: ○ 20 mm / m² ○ その他 (</p> <p>○ コンクリート面の仕上り程度: ○ 目違い不陸等極めて少ない良好な面とする。 ○ 目違い不陸等の少ない良好な面とする。 ○ 打放しのままとし目違いばらばらにする。</p> <p>○ 木コン等による穴の仕上: ○ 打放し仕上の場合、保水剤入りモルタルを塗る。 ○ 面うちに仕上げる。 ○ コンクリート面に合わせ仕上げる。</p>
<p>7 試験</p>	<p>・ 採取した試験体は工事現場等、請負業者の直接管理下にある場所に保管する。</p> <p>○ コンクリートの圧縮強度試験は、公認の試験所に於て之を原則とする。</p>
<p>8 運搬及び 打込</p>	<p>○ コンクリート打込に先立ち、設計、施工条件を十分考慮し、適切な施工計画書を作成し、係員の承認を受けるものとする。</p>

① 一般事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄筋の使用範囲は、構造設計図による。 ・ 鉄筋の継手及び補強配筋等については、共通仕様書の他に、構造設計図記載の、基準詳細等を優先とする。 ・ 鉄筋の加工、組立に際しては、あらかじめ鉄筋加工図を作業し、係員の承認を受ける。
② 材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通鉄筋： S D 2 3 5（規格品） ・ 高張鉄筋： S D 2 9 5 A（規格品） ・ S D 3 4 5（規格品） S D 3 9 0（規格品） ・ その他（
③ 継手	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種類： <ul style="list-style-type: none"> ・ ガス圧継手（ ・ 1.6φ以上 ・ 1.9φ以上） ・ 重ね継手 ・ アーク溶接継手 ・ その他（
④ 鉄筋スパーサー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種類： <ul style="list-style-type: none"> ・ 金属製 ・ モルタル製 ・ 塩ビ製 ・ その他（
⑤ ガス圧接部の試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種類： <ul style="list-style-type: none"> ・ 引張試験

① 一般事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用範囲及び区分は、構造設計図による。 ・ 鉄骨の継手、仕口及び補強部分その他については、共通仕様書の他に構造設計図記載の、基準設計図等を優先する。 ・ 工作図または、原寸図（製板および定規を含む）を作成し、係員の検査を受ける。
② 普通鋼	<ul style="list-style-type: none"> ① 形鋼・鋼板： <ul style="list-style-type: none"> ・ SS400 ・ SM400 ・ SMA400 ・ SM490 ・ その他（ ・ 軽量形鋼： <ul style="list-style-type: none"> ・ SSC400（焼結品） ・ 鋼管： <ul style="list-style-type: none"> ・ STK400 ・ STK490 ・ その他（ ② 高力ボルト： <ul style="list-style-type: none"> ・ F8T ・ F10T ・ F12T ③ S10T ・ 普通ボルト： SS41とし等価品は中ボルト程度とする。 ・ リベット： SV41A（鍛結品） ・ 溶接材料： JIS・Z・3211規格に適合するもの。 ④ 防錆塗装： 素地処理の程度： <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一種ケレン（プラスト法） ⑤ 第二種ケレン（機械的作業） ・ 第三種ケレン（手工員作業） ・ 錆止塗装は、仕上塗装種別に応じた同系錆止塗料とする。 ・ 塗装回数は、工場1回、現場1回、但し結立後塗装不可な部分は、工場2回塗とする。 ・ 仕上塗装： <ul style="list-style-type: none"> ・ オイルペイント ・ グラファイトペイント ・ その他（ ⑥ 溶融亜鉛メッキ処理： <ul style="list-style-type: none"> ・ 400g/m²
③ 耐候性 高強力鋼	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼材： <ul style="list-style-type: none"> ・ SPA H/C ・ SM50A/B/C ・ SM50BC ・ その他（ ・ 高力ボルト： <ul style="list-style-type: none"> ・ F8T ・ F10T ・ F12T ・ 使用材料： <ul style="list-style-type: none"> ・ 様使用 ・ 表面処理（ <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェザークコートⅠ ・ ウェザークコートⅡ ・ その他（ ・ 溶接材料： JIS・Z・3212規格に適合するもの。
④ 工法	<ul style="list-style-type: none"> ① ボルト工法 ・ 溶接工法（アーク溶接） ・ その他（
⑤ 溶接部の 試験	<ul style="list-style-type: none"> ② 試験の種類： <ul style="list-style-type: none"> ③ 超音波探傷試験 ・ X線検査 ・ その他（
⑥ 溶接工の 技量確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない
⑦ 試作品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要 ・ 不必要
⑧ 製作工場	<ul style="list-style-type: none"> ・ Mグレード以上